■当て止め/当て押し機能

●特長

一つの入力信号で、減速→当て止め→当て押しの一連の動作を行います。当て止め状態完了の信号をインバータから出力させます。

●用途

ワークの簡易位置決め

●パラメータ設定

No.	機能	単位	調整範囲	標準出荷値	備　考
F382	当て止め機能 有効/無効	—	0：無効 1：— 2：有効	0	
F383	当て止め周波数設定	Hz	0.1～30	5 （0.1k～0.4kW） 7.5 （0.75k～2.2kW）	注意! 標準出荷値以下の周波数で調整してください。
F384	当て止め制限トルク	%	0～120	100	定格トルク比注意! 5%以上で調整してください。
F385	当て止め検出時間	sec	0.0～25.0	0.3	
F386	当て押し制限トルク	%	0～100	10	定格トルク比

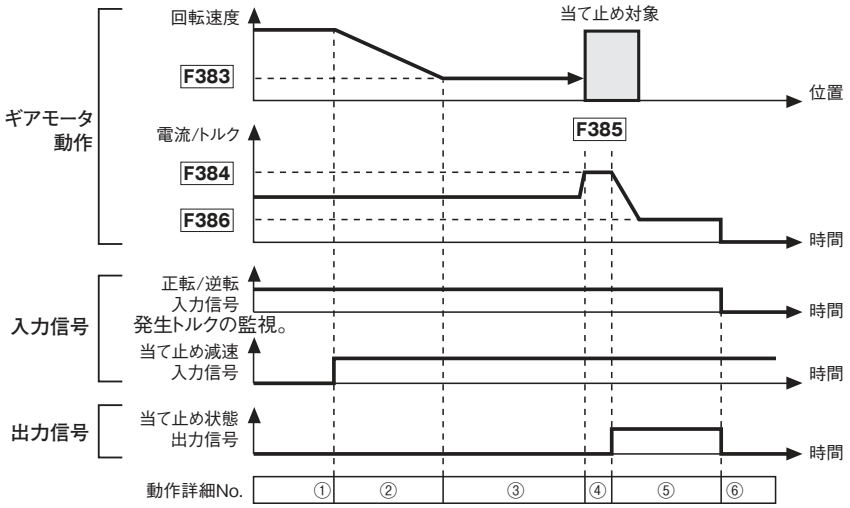
●入力端子機能

No.	機能	動作
150	当止め正逆転・減速入力信号	ON：当て止め周波数設定の回転速度に切替え OFF：通常運転（ON⇒OFF時、通常運転に戻る）
151	当止め正逆転・減速入力信号（反転）	

注1. 信号は保持入力信号としてください。
注2. 正転/逆転指令の優先順位は、当て止め減速信号より上位です。

●出力端子機能

No.	機能	動作
174	当止め状態出力信号	ON：モータが拘束され、当て押し制限トルクに切替えでON OFF：正転/逆転運転指令OFFで出力OFF
175	当止め状態出力信号（反転）	

●動作詳細

①当て止め減速入力信号がON（保持入力信号）
②**F383**で設定した低速周波数（回転速度）まで減速する
③減速完了後、**F384**にて設定したトルクを検出するモードに切替える
④**F384**にて設定したトルクが、**F385**にて設定した時間以上経過した場合、**F386**にて設定したトルク以上出力が出ないように制限する
⑤当て止め状態出力がON
⑥正転/逆転運転指令がOFFした場合、当て止め状態出力をOFF